

①情報発信・人材育成事業

足袋・足袋蔵デジタルプロモーション事業

事業の概要	平成29年度に実施した観光プロモーション調査の結果を踏まえ、行田版日本遺産ウェブサイトの英語化、フランス語化を実施し、海外や国内在留の欧米系外国人に広く情報を発信しています。
事業費	1, 227, 204円
活用状況	<p>・平成31年3月公開</p>  <p>日本遺産ウェブサイト フランス語版の構成資産紹介ページ</p>




足袋・足袋蔵プロモーション事業

事業の概要	平成29年度に実施した観光プロモーション調査の結果を踏まえ、観光客向けのパンフレット（日本語版）2万部を作成しました。また、インフルエンサー11名により、ブログやSNS等で行田の観光情報を発信しました。
事業費	4, 784, 400円
活用状況	<p>・観光案内所、ぶらっと♪ぎょうだ、日本遺産ガイドセンターのほか、古代蓮の里や郷土博物館などの主要観光施設、ハナホテル等で配架</p>  <p>パンフレット表紙</p> <p>グルメ紹介ページ</p>

郷土博物館の足袋関連展示充実

事業の概要	郷土博物館内ラウンジに、日本遺産や構成文化財を紹介する大型展示パネルを設置し、来館者に広くPRしています。また、展示を見た来館者が市内各地に点在する構成文化財を見学できるよう、地図を抜粋したパンフレットを作成しました。	
事業費	1,924,020円	
活用状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年2月設置  <p style="text-align: center;">郷土博物館内ラウンジの大型展示パネル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月発行  <p style="text-align: center;">パンフレット</p>

足袋蔵コーディネーター育成事業



事業の概要	足袋蔵の活用やそのアドバイス等ができる人材の育成を目的とした事業で、高校生以上の市民を対象とした講座を9月から2月にかけて9回実施しました。講座には計21名が参加し、そのうち10名が修了しました。	
事業費	338,491円	
活用状況	<ul style="list-style-type: none"> 修了した方には、今年度実施を予定している日本遺産一斉公開イベントをはじめ、様々な場面で活躍していただく予定です。  <p style="text-align: center;">構成資産見学</p>  <p style="text-align: center;">足袋蔵実測実習</p>  <p style="text-align: center;">壁塗り体験実習</p>	

藍染・足袋製造実演技術者養成～観光実演・体験指導

事業の概要	<p>藍染や足袋製造などの実演や体験指導ができる人材育成を目的として実施した事業で、藍染実演技術者養成講座は第1期、第2期合わせて11名が、足袋製造実演技術者養成講座は、第1期、第2期合わせて3名が参加しました。</p>
事業費	972,000円
活用状況	<p>・藍染実演技術者養成講座に参加した11名の方は、牧禎舎等の体験施設で折々に体験指導を行っています。</p> <p>・足袋製造実演技術者養成講座に参加した3名のうち1名は、毎週足袋製造実演を行っています。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>藍染型作実習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>藍染抜染実習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>足袋製造実習</p> </div> </div>

②普及啓発事業

JAPAN EXPO出展事業

事業の概要	<p>平成30年7月5日（木）～8日（日）の4日間、フランスのパリで開催されたJapan Expoに出展し、パンフレット配布や足袋販売などを行ったほか、最終日にはステージイベント「行田足袋コレクション」を開催して行田の足袋をPRし、また、入賞者3名を表彰しました。</p>
事業費	4,495,499円
活用状況	<p>・入賞者3名は、平成30年11月8日（木）～11日（日）の4日間、行田市に招待し、観光アンバサダーとして委嘱して、市内での観光や体験を楽しんでいただき、その様子や情報は、自身のSNSで発信していただいています。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>現地でのPRブースの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アンバサダー3名が市内足袋工場を見学</p> </div> </div>

行田みらい塾開催事業

事業の概要	日本遺産を活用した観光まちづくりを担うことができる人材育成を目的とした事業で、まちづくりや商品開発、コミュニティデザインなど、様々な分野の講師による講義とワークショップ、他地域視察（燕三条 工場の祭典）等を計8回実施し、第9回は商工センターホールでの成果発表会「行田みらいフォーラム2019」を開催しました。48名が塾生として登録し、うち17名が修了しました。
事業費	1,647,939円
活用状況	<p>・成果発表会において会長賞となった「忍城足袋リンピック」は、市の補助金を活用して9月28日、29日の2日間に忍城址周辺で開催予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 611 842 958">  <p data-bbox="560 987 671 1014">講義の様子</p> </div> <div data-bbox="879 611 1342 958">  <p data-bbox="927 987 1318 1014">行田みらいフォーラム2019での発表</p> </div> </div>

小中学生による足袋に関する絵画コンテスト事業

事業の概要	<p>市内の全小中学校（小学校3年生～中学校3年生）を対象とし、足袋や足袋蔵などを題材とした絵画コンテストを実施しました。</p> <p>応募総数は667点で、この中から特選7点、金賞13点、銀賞25点を選定し、表彰しました。</p>
事業費	76,690円
活用状況	<p>・特選及び金賞作品は、11月10日、11日に商工センターで、11月12日～12月3日まで行田市産業文化会館で展示しました。</p> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="515 1906 735 1933">商工センターでの展示</p> </div>

③調査研究事業

調査名	足袋蔵等の近代化遺産詳細調査事業
事業費	340,200円

調査のねらい・目的

日本遺産の構成資産である足袋蔵等の近代化遺産について、詳細な文化財的調査を行い、今後の保存・活用のための資料とする。

調査手法

足袋蔵等の近代化遺産（古蛙庵1棟）について建物実測による平図面、断面図の作成、目視と調査機械による建物の現状把握を行った。また、建物の歴史的変遷に関する聞き取り調査と文献調査を行った。

調査結果（概要）

調査の結果、所有者の変遷、曳き家の実施など、古蛙庵の歴史的な変遷が再確認された。建造から169年が経っているが建物（土蔵）には大きな変形や損傷もない状態で、曳き屋や改装、震災などの際に維持補修が随時行なわれてきたものと推測された。

調査結果を踏まえた今後の事業展開

建物は書斎兼私設民芸館として個人的に活用されているものの、内部には行田の歴史を物語る歴史資料が数多く展示されており、一般公開が望まれる土蔵である。建物の公開にはいくつかの課題もあるが、今後、所有者に働きかけていく。

なお、平成29年度に調査を行った鯨井家倉庫（1棟）については、調査受託者と所有者の善意で、平成30年度に建物の補修についての追加調査を行った。その結果、当初の想定以上にコンクリート内の鉄筋の劣化が進行していることが明らかになったが、調査結果を踏まえて、所有者が屋根の修理を実施した。

調査名	足袋蔵等再活用事業
事業費	2,970,000円

調査のねらい・目的
日本遺産の構成資産である行田市の足袋蔵等歴史的建造物の現状、所有者の今後の活用意向等を把握するとともに、来訪者の視点から見た足袋蔵等の魅力、整備すべき施設のニーズを探り、日本遺産を活かしたまちづくり（地域振興）の方向性、足袋蔵再活用の具現化を検討する。

調査手法
<p>日本遺産構成資産の足袋蔵等歴史的建造物（11棟）を個別に訪問し、建造物の現況及び活用の可能性を目視等で確認調査を行うとともに、所有者等に対して保存・活用の意向等について聞き取り調査を行い、調査結果をまとめてレポートを作成した。</p> <p>平成29年度の調査結果及びアンケート調査も踏まえた構成資産の建造物全体の再活用へと繋がる望ましい活用のあり方をまとめた提案書、2棟の足袋蔵の活用提案図、まちづくりのイメージ図を作成した。</p>

調査結果（概要）
<p>足袋蔵等歴史的建造物の現状に関する調査では、調査対象の蔵のほとんどが物置として使われているが、活用されていると言える蔵は少なく、空きスペースも多く見られた。所有者に対する今後の活用意向調査では、将来的にこのままで良いと考える所有者は少なく、自分で活用したいと同時に借りたい人がいれば貸すと言う所有者が多かったが、公開・活用について金銭的、技術的、人手的、アドバイス等知的支援が必要な状況も明らかになった。</p> <p>望ましい活用のあり方については、まちづくりの方向性として、歩いて楽しむことができるまちづくり、小グループがゆったり歩いたり味わったりする奥座敷的観光地が提案され、具体的な足袋蔵等の維持保全と活用策の提案として、次のような枠組みが提示された。</p> <p>①個々の蔵の歴史、由緒を、所有者の許可を得てできるだけ表から見えるものにする。すでに一部の蔵では統一的な表示板があり、一層充実していくこと、更に忍城の城下町としてのポイントの案内などを連携し、地図を片手に歩くだけでも行田の歴史を探訪できるものに発展させる。</p> <p>②次に、個々の蔵の事情は様々であるが、公開は困難であっても維持し続ける場合、あるいは他者に貸すなどするような場合に、その景観に配慮することについて、現行の行田市による補助制度なども活用しつつ、塀や門、外壁の改修や生垣の整備など、景観に配慮した街並みを積極的につくっていく。</p> <p>③さらに、常時とはいかなくとも一時的に建物を公開できるような場合、一定の期間を決めて開くギャラリーや仮設店舗、いくつかの日本遺産等を連動させたイベント日だけの解放など、ある程度の蔵等について中に入ってより深く味わうことができる機会を増大させる。</p> <p>④特に内部の利用については、従来の公共的用途に加えて、不特定多数の人の出入りが可能な店舗や一部に人の出入りを許すことができる事務所など、内部の様子が見られる活用法を推進する。</p>
次ページへ




⑤加えて、表示板にQRコードを表示して、インターネットを通じてより多くの情報を提供したり、その施設近傍の昔の景観と現代を比べられる仕掛けなど、IT技術の効果的な導入も検討する必要がある。さらに、足袋蔵等の周辺整備として「足袋蔵のまちポケットパーク（仮称）」の提案がされ、イメージ図が作成・提示された。それらを踏まえて、行田全体の活性化をめざす体制の創出の提案として、日本遺産を冠した基金の運営組織等を、産官学金に加えてNPO等の団体や自治組織、場合によっては市民やシンパとなる個人も参画する市民株式会社などとして設け、観光開発、関連施設の運営や協議の母体とする提案がなされた。

調査結果を踏まえた今後の事業展開

- ・令和元年度に「日本遺産一斉公開」を実施し、足袋蔵等公開・活用の足掛かりを作る。
- ・平成30年度に養成した足袋蔵の保存・公開・活用をアシストする「足袋蔵コーディネーター」の活動を活発化させ、足袋蔵等の公開・活用の促進を図る。
- ・市の「ふるさとづくり事業」の一つとして、平成30年度から新たにメニューに加えた「日本遺産構成資産公開活用促進事業」のPRを行い、利用促進を図る。
- ・文化遺産観光拠点充実事業補助金の活用を検討する。

④公開活用のための整備に係る事業

ぱっとわかる案内板作成設置事業

事業の概要	日本遺産のストーリーや位置図、写真等を掲載した案内・説明板、個別の説明板、歩行者用案内板などを設置しました。また、車で訪れた観光客が、足袋蔵巡りの拠点であるバスターミナル駐車場を迷うことなく利用できるよう、誘導案内板を主要道路に設置しました。
事業費	2,458,512円
活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大型説明・案内板 1基（浮き城の径入口付近） ・中型案内板 4基（天満～向町地内） ・小型案内板マンホールタイプ 1基（主要地方道行田蓮田線 歩道） ・中型説明板 1基（構成資産「高橋家の芭蕉句碑」） ・小型説明板 3基（構成資産「奥貫家土蔵」「笠原家住宅」「楽屋足袋蔵」） ・自動車用誘導案内板 3基（県道3路線に設置）
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>案内・説明板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マンホール型案内板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動車用誘導案内板</p> </div> </div>